

長浜西部福祉ステーション浴槽改修工事 設計図 令和5年11月

I 工事概要

1. 工事場所 長浜市朝日町

2. 敷地面積

3. 工事種目

NO.	名称	工種	構造	床面積 (㎡)				延面積	備考
				1階	2階	3階	R階		
1									
2									
3									
4									
5									
6									

4. 概要説明 既設一人浴槽撤去し、床補修の上特殊浴槽設置

5. 別途工事

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁官庁建設部の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「改修仕様」という。）により、また、改修仕様に記載されていない事項は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「仕様」という。）による。

2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、\*印の付いたものを適用する。○印と\*印の付いた場合は、共に適用する。(3) 特記事項に記載の〔 〕 内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。(4) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

III 一般共通事項

項目	特記事項
1 施工基準	本工事は、長浜市建設工事執行規則に基づき、工事請負契約書及び同約款を遵守し、現場説明書、現場説明に対する質問回答書、本特記仕様書を含む図面、種目及び改修種目により完全に施工する。(1.1, 1.2)
2 工事実績情報の登録 (CORINS)	上記相互間の相違のある場合は優先順位は、記載の順序とする。(1.1, 3)
3 提出図書	※施工計画書 提出部数 ※1部 (1.1, 2, 2)・施工図 提出部数 ※1部 (1.1, 2, 3)・完成図 提出部数 ※2部 (A3版縮小製本及び電子媒体) (1.1, 2, 3)・安全に関する資料 提出部数 ※2部 1部 (1.1, 9, 3)次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。(1.1, 3, 5)
4 施工条件	工程・作業 指定日時
5 公害対策	工場・業務発生作業 施設休日等 (日曜日) に行うこと。
6 産業廃棄物の処理	工事着手前に付着の状態を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。(1.3, 11) 請負人は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。 (1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材産業物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。 (2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進を図ること。また再資源資源利用（促進）計画書および同実施書を作成し速やかに報告すること。(1.1, 3, 11) (3) 請負人は「産業物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第12条の3によるマニフェストシステムによる廃棄物の発生抑制を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。また、調査結果を石綿事前調査結果報告書システム等を使用し報告を行うこと。 1. 調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の持ち等は、下記による。 なお、分析による石綿含有の調査を行う場合は、「建材中の石綿含有率の方法について」（平成18年8月21日 基発第0821002号、最終改正 平成28年4月13日 基発第3号）に基づき方法により、分析方法は特記による。 調査範囲 ○当該施設範囲 ○図示 貸与書類 ○建設当初図面 ○石綿調査報告書 分析方法 ・JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。 ・JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。 採取機体 ・1ヶ所 ・10ヶ所
7 養生材の処理等	※構外搬出適切処理 指定( )
8 石綿含有建材の事前調査制度	※大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する法令等に基づき実施すること。また、調査結果を石綿事前調査結果報告書システム等を使用し報告を行うこと。 1. 調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の持ち等は、下記による。 なお、分析による石綿含有の調査を行う場合は、「建材中の石綿含有率の方法について」（平成18年8月21日 基発第0821002号、最終改正 平成28年4月13日 基発第3号）に基づき方法により、分析方法は特記による。 調査範囲 ○当該施設範囲 ○図示 貸与書類 ○建設当初図面 ○石綿調査報告書 分析方法 ・JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。 ・JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。 採取機体 ・1ヶ所 ・10ヶ所
9 施工調査	2. 調査は、目視、設計図書、石綿含有の有無の調査報告書等により確認し、調査結果をとりまとめ監督職員に提出する。 3. 調査結果は公衆の見やすい場所に作業開始前に掲示すること。 掲示版サイズ : A3サイズ (42.0cm×29.7cm) 以上 4. 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。(1.5, 1) 工事着手前に先立ち、施工調査を行い報告すること。(1.6, 1)
10 技能士	調査範囲 調査方法 *目視調査 *打診調査

11 一工程報告

一工程報告書の提出	○不要
解体	
防水改修	
外壁改修	
耐震改修	
各工種毎	

12 化学物質の濃度測定

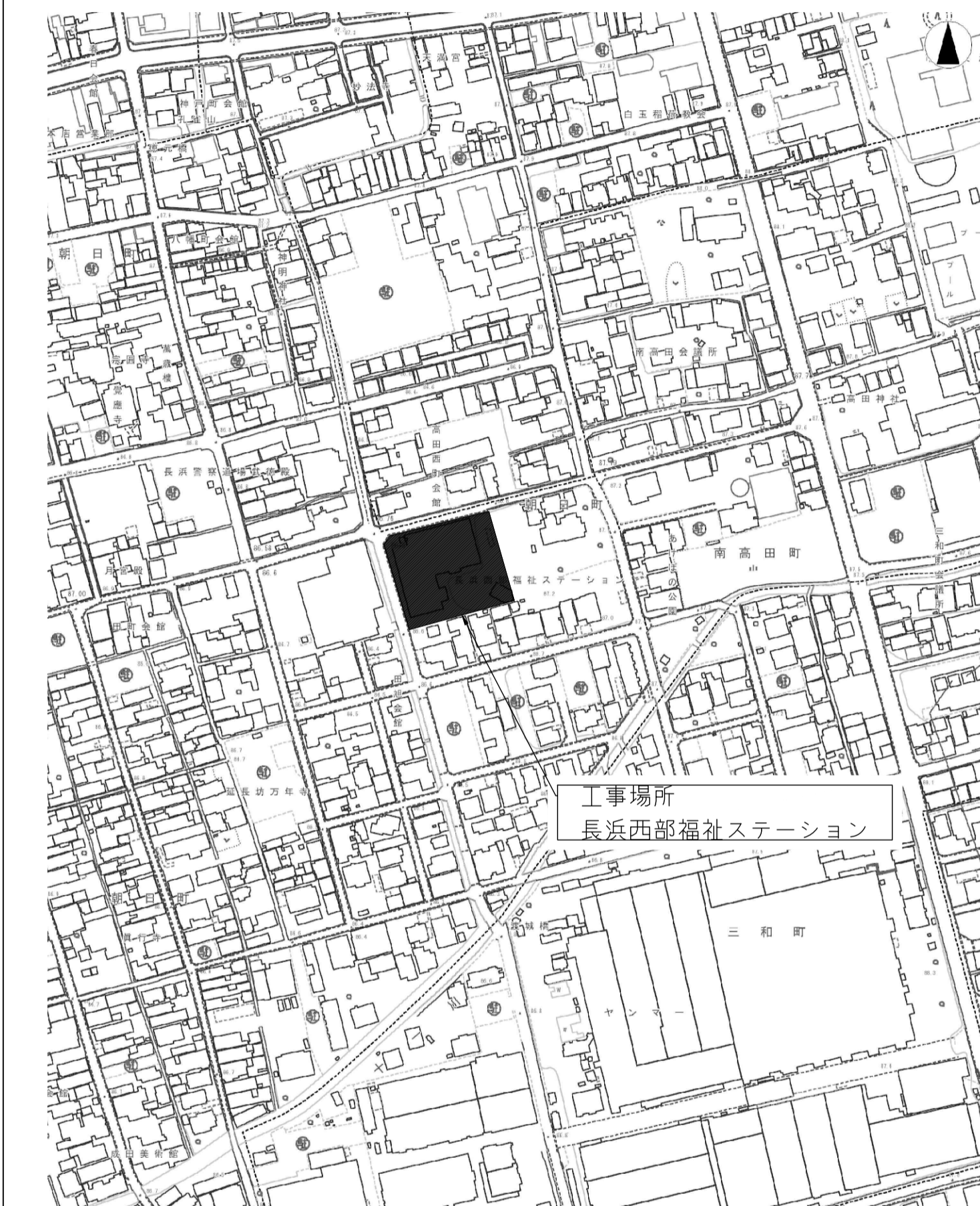
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度をパッシブ法にて測定し、報告すること。  
また、基準値を満たさない場合は、対策を講じたのち再測定を行うこと。  
測定箇所 箇所 ○図示

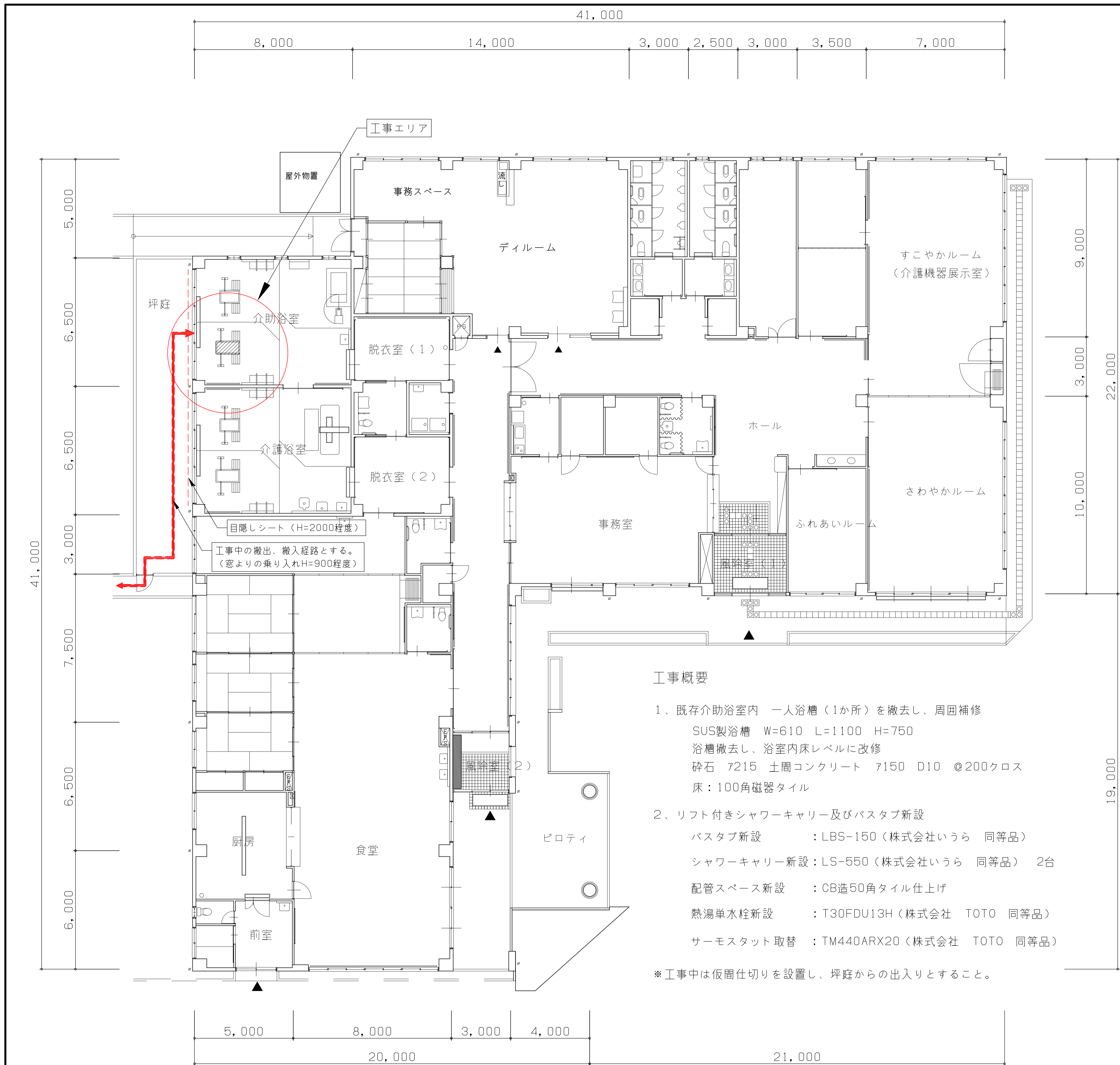
13 取扱説明書の作成

竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。(1.7, 3)  
(部数、詳細については、監督職員の指示による。)

19 施工体制	受注者は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。 また、市担当から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。 イ「長浜市現場代理人の発注に関する運用基準」に従い、現場代理人を届け出ること。 ロ 現場代理人は、請負人と直接的な雇用関係を証するもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。 ハ 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。
19 現場代理人等	
19 工事写真	区分 撮影箇所 提出部数 備考 着工前、完成 ・3 ※6・15・30 3 同じ位置で撮影すること。 工事中 1 必要に応じて撮影すること。 定期提出 代表的な出来高の部分 1 工事月報用
17 竣工写真	工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・建築工事編」（国土交通省大臣官房官庁建設部監修）による。 竣工写真はキャビネットカラープリントによる写真を提出し、また、画像データを電子媒体で各1部提出すること。 19 下請業者等の選定
19 保険等の付与及び事故の補償	20 保険の付与及び事故の補償 (法定外の労災保険の付与) 21 地元説明会 22 近隣家屋の調査
23 設計図の製本	23 設計図の製本 24 軽微な変更
26 技術管理	26 技術管理 27 特殊な材料の工法 28 各種検査合格書等
29 設備工事との取合	29 設備工事との取合
30 安全対策	30 安全対策
31 総合安全衛生管理業務者	31 総合安全衛生管理業務者
32 シンナー等の保管	32 シンナー等の保管
33 火気の管理	33 火気の管理
34 通風防止の措置	34 通風防止の措置
35 騒音振動の防止	35 騒音振動の防止
36 設計G.L	36 設計G.L
37 不法無罪等の排除	37 不法無罪等の排除
38 EOC/PAC/その	38 EOC/PAC/その
39 別途工事との連絡協議	39 別途工事との連絡協議
40 建設リサイクル法	40 建設リサイクル法
41 申請等	41 申請等
42 施工計画書の提出を求める工事	42 施工計画書の提出を求める工事
1 監督員事務所	監督員事務所の規模 ( ・10㎡ ・20㎡ ・35㎡ ・65㎡ ・100㎡ )程度 (2.3.1) 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨がつば、保護帽、安全帯、衣類ロッカー 請負人加入電話の機、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。(2.3.1)
2 仮囲い	図示による他鉄板扉、金網扉、板扉等の仮設計書を立案し、監督職員と協議すること。
3 工事中水	構内既存の施設 ○利用できる (※有償・無償) ・利用できない
4 工事中電力	構内既存の施設 ○利用できる (※有償・無償) ・利用できない
5 シート養生	必要に応じて室内外の壁、天井、床等シートで養生する。 溶接作業を行う場所については、防炎シートを使用し、防火対策を講ずる。
6 足場	足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び橋木の機能を有するものを設置すること。(2.2.4)
7 交通誘導員	・配置する 60人程度（大型車庫の出入りがある日）
8 仮設養生切り	仮設養生切り及び仮設扉の設置箇所 (2.3.2) [表 2.3.1] ○図示による。 仮設養生切りの種別と材質等
	種別 仕上げ (厚さmm) 塗装 充填
	・A種 セッコウボード 種類( ) 厚さ(※9.5mm mm) ○片面 グラスウール 厚さ mm
	○合板 材質(※耐水合板) 厚さ(※9mm mm)
	・C種 防炎シート
	仮設養生切りに設ける仮設扉の材質等
	材質 仕上げ 塗装 設置箇所
	※木製 ※合板張り程度 ○1 箇所 ○図示による

9 内装改修工事	1 改修後の床の清掃 2 ビニル床シート (FS) 3 ビニル床タイル (KT) 4 タイルカーペット 5 フローリング 6 畳 7 ボード、合板
8 壁紙	9 化粧塩ビシート 10 マラミン化粧紙 11 断熱材 12 タイル 13 セルフレバリング材塗 14 砂利地床 15 鉄筋 16 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度
	清掃範囲 *工事範囲内と工事用通路 ・建物内全体 [6.2, 2] [6.8, 2]
	凡例名 仕様 (商品名の場合は同等品とする) 備考 FS-1 東リ製 消臭NSTフレNNW FS-2
	凡例名 仕様 (商品名の場合は同等品とする) 備考 KT-1 KT-2
	凡例名 仕様 (商品名の場合は同等品とする) 備考 TC-1 TC-2
	フローリングは市産材すき圧密フローリングを支給する。 [6.11, 2] 種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種KT-II [6.12, 2]
	種別 記号 厚さ (mm) ・規格等 ・けい酸カルシウム版 FK タイプ2 (無石綿) ( ・6 ・8 ・ ) ・ロックワール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ ・凹凸タイプ (※9・12) (※12(不燃) ・15) ・セッコウボード GB-R ※12.5(不燃) ・9.5(不燃) ・化粧セッコウボード GB-D ※9.5(不燃) ・9.5(不燃) ・12.5(不燃) ・化粧セッコウボード (杉紙柄) GB-D(S) ※9.5(不燃) ・12.5(不燃) ・不燃積層セッコウボード GB-NC ※9.5(不燃、化粧) ・9.5(不燃、素地) ・シーリングセッコウボード GB-S 12.5(不燃) ・強化セッコウボード GB-F 12.5(不燃) 15.0(不燃) ・化粧セッコウボード GB-D ※9.5(不燃) ・9.5(不燃) ・12.5(不燃) ・化粧セッコウボード (杉紙柄) GB-D(S) ※9.5(不燃) ・12.5(不燃)
	凡例名 種類 耐火性能 備考 クロス1 ※ビニル ・木質 ・無機質 ・オレフィン ・不燃 ・準不燃 ・難燃 クロス2 ※ビニル ・木質 ・無機質 ・オレフィン ・不燃 ・準不燃 ・難燃
	3M ダイノックフィルム 同等品 アイカ工業 セラール セルラス 同等品 グラスウール 密度(kg/m <sup>3</sup> ) ・16 ※24 ・32 [6.16, 3~4]
	凡例名 大きさ 設物 備考 床タイル 100×100 ・有 ○無 LIXIL 抗菌床タイル ミスティアフロアキリックス R同等品 壁タイル 60×60 ○有 ・無 LIXIL アコルディム R同等品
	材料 ※セメント系 ・セッコウ系 [6.17, 2] 標準壁厚 ・10 ※15 ・20 [6.17, 3]
	材料 ○再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 (4.6.2) 砂利厚さ ※60mm ・○図示 (4.6.3)
	適用箇所 ・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ○図示による( )
	鉄筋の種類 (5.2.1)
	種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ○ SD295A ○ D10 ・D13 ・D16 ・D19 ・ SD345 ・D19 ・D22 ・D25 ・D29 ・ SD390 ・D29以上
	・普通コンクリート (6.2.1~4) 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ 適用箇所 ・構造図による ・21 15 外構基礎、外構躯体 ○18 15 土間、捨て



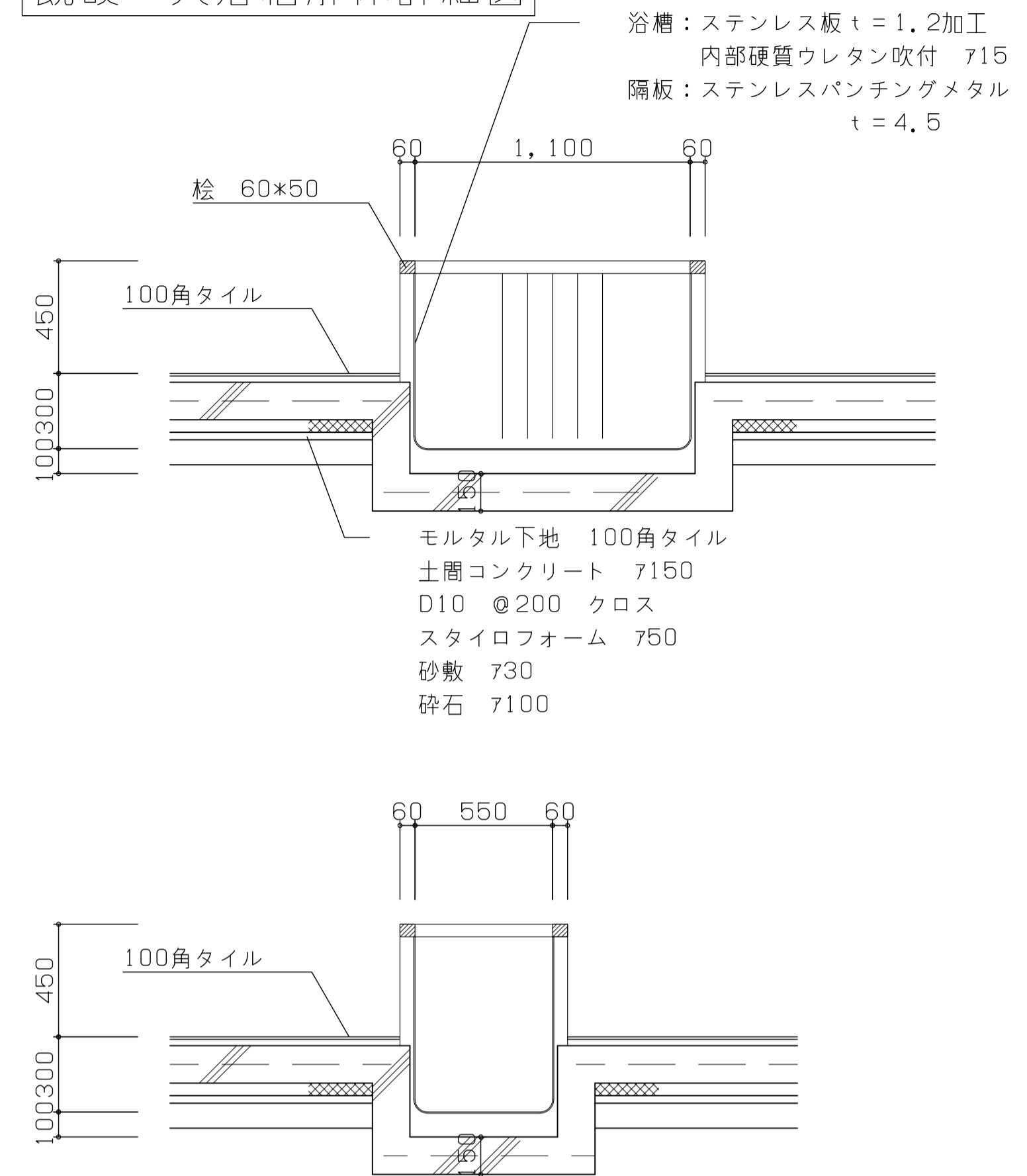


工事概要

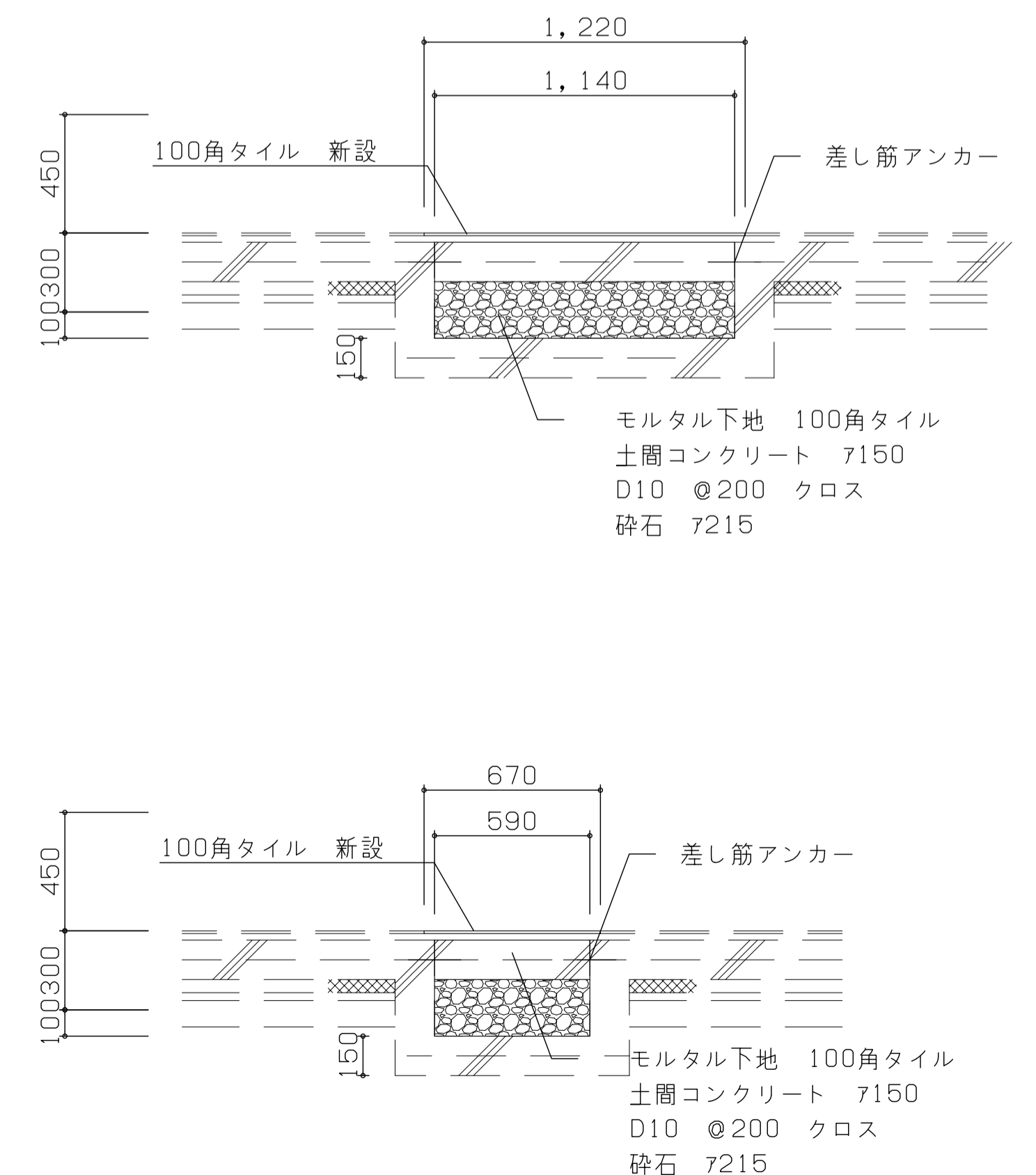
- 既存介助浴室内 一人浴槽 (1か所) を撤去し、周囲補修  
 SUS製浴槽 W=610 L=1100 H=750  
 浴槽撤去し、浴室内床レベルに改修  
 砕石 7215 土間コンクリート 7150 D10 @200クロス  
 床: 100角磁器タイル
- リフト付きシャワーキャリー及びバスタブ新設  
 バスタブ新設 : LBS-150 (株式会社いうら 同等品)  
 シャワーキャリー新設: LS-550 (株式会社いうら 同等品) 2台  
 配管スペース新設 : CB造50角タイル仕上げ  
 熱湯単水栓新設 : T30FDU13H (株式会社 TOTO 同等品)  
 サーモスタット取替 : TM440ARX20 (株式会社 TOTO 同等品)

※工事中は仮間仕切りを設置し、坪庭からの出入りとする。

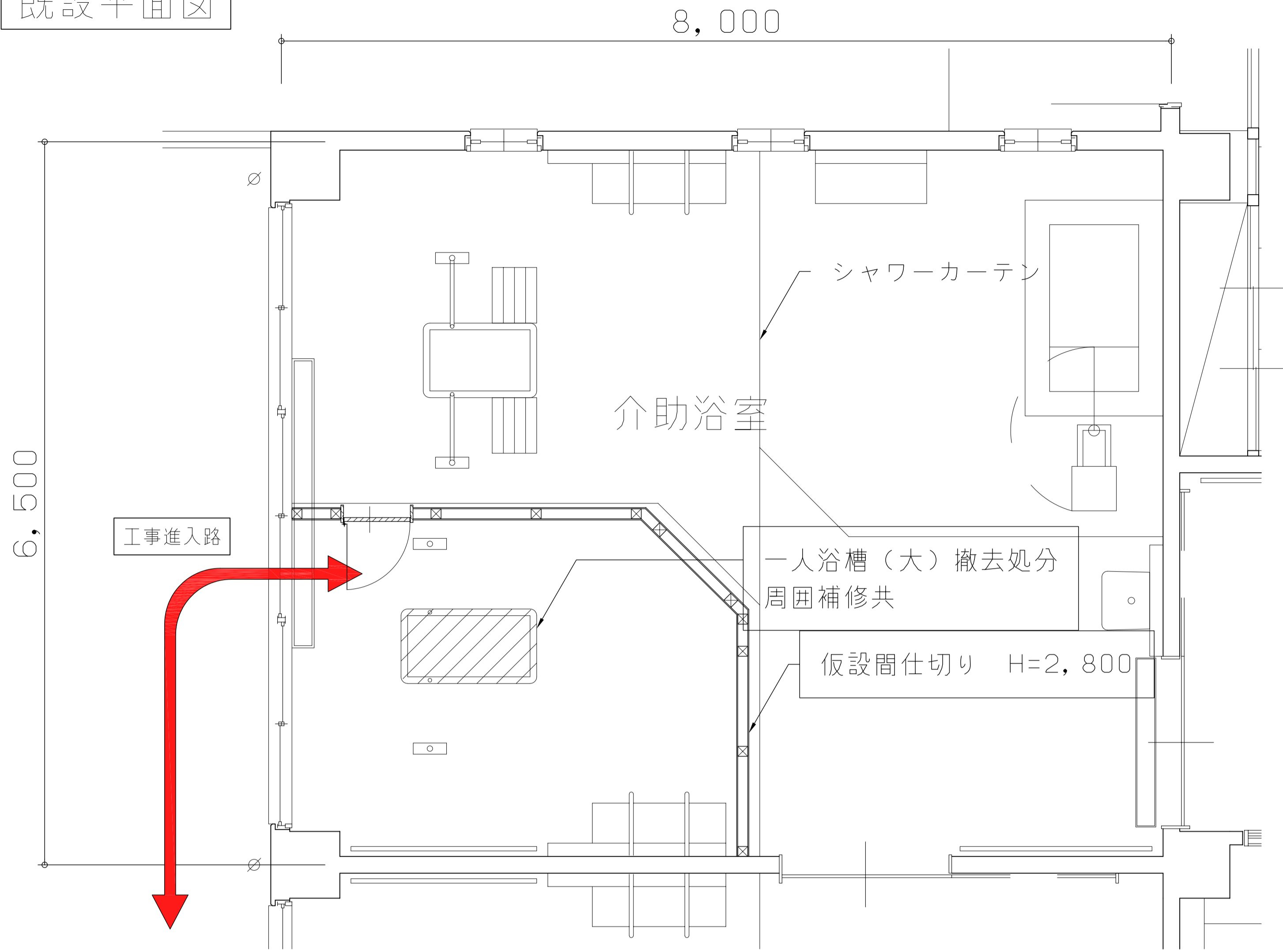
既設一人浴槽解体詳細図



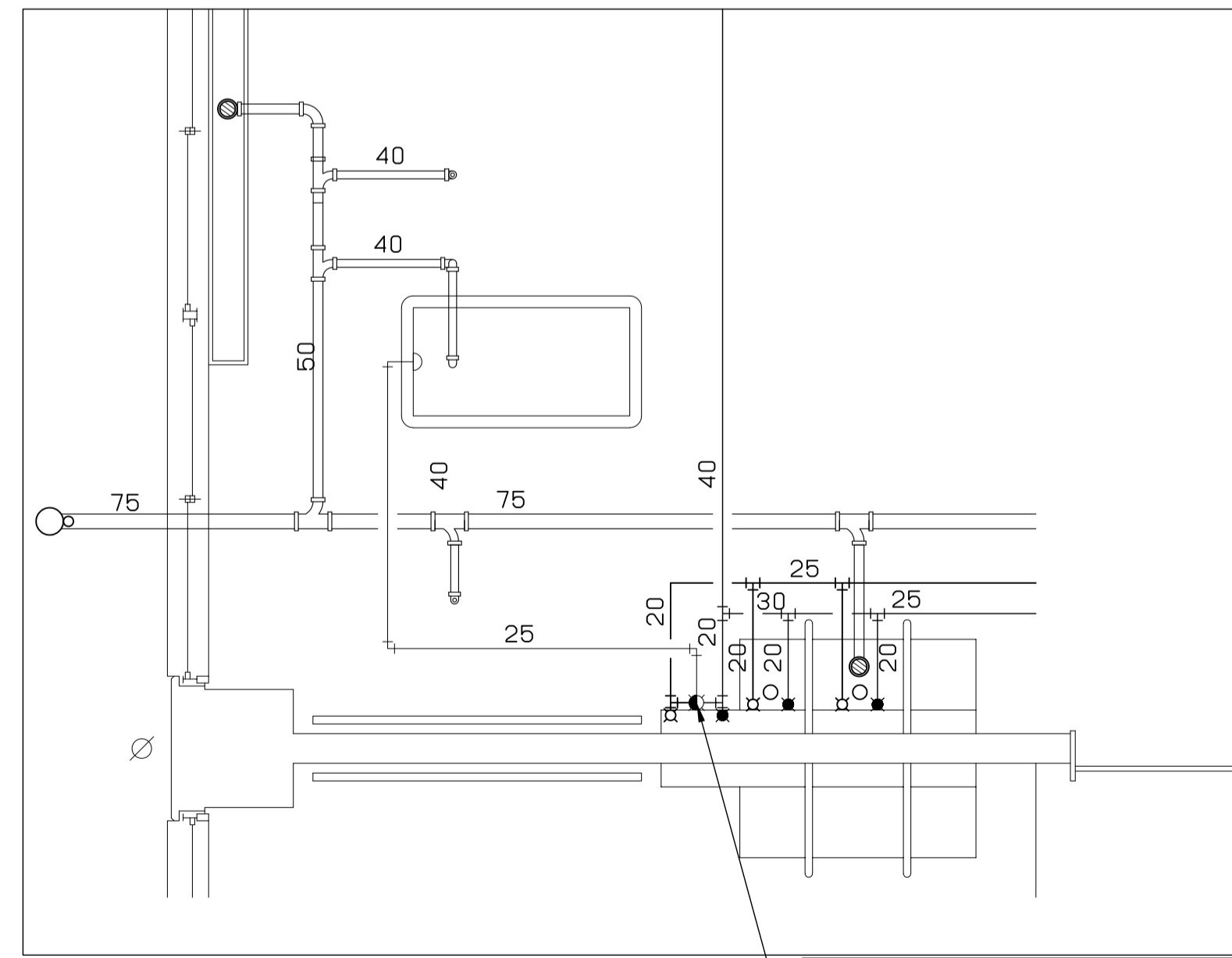
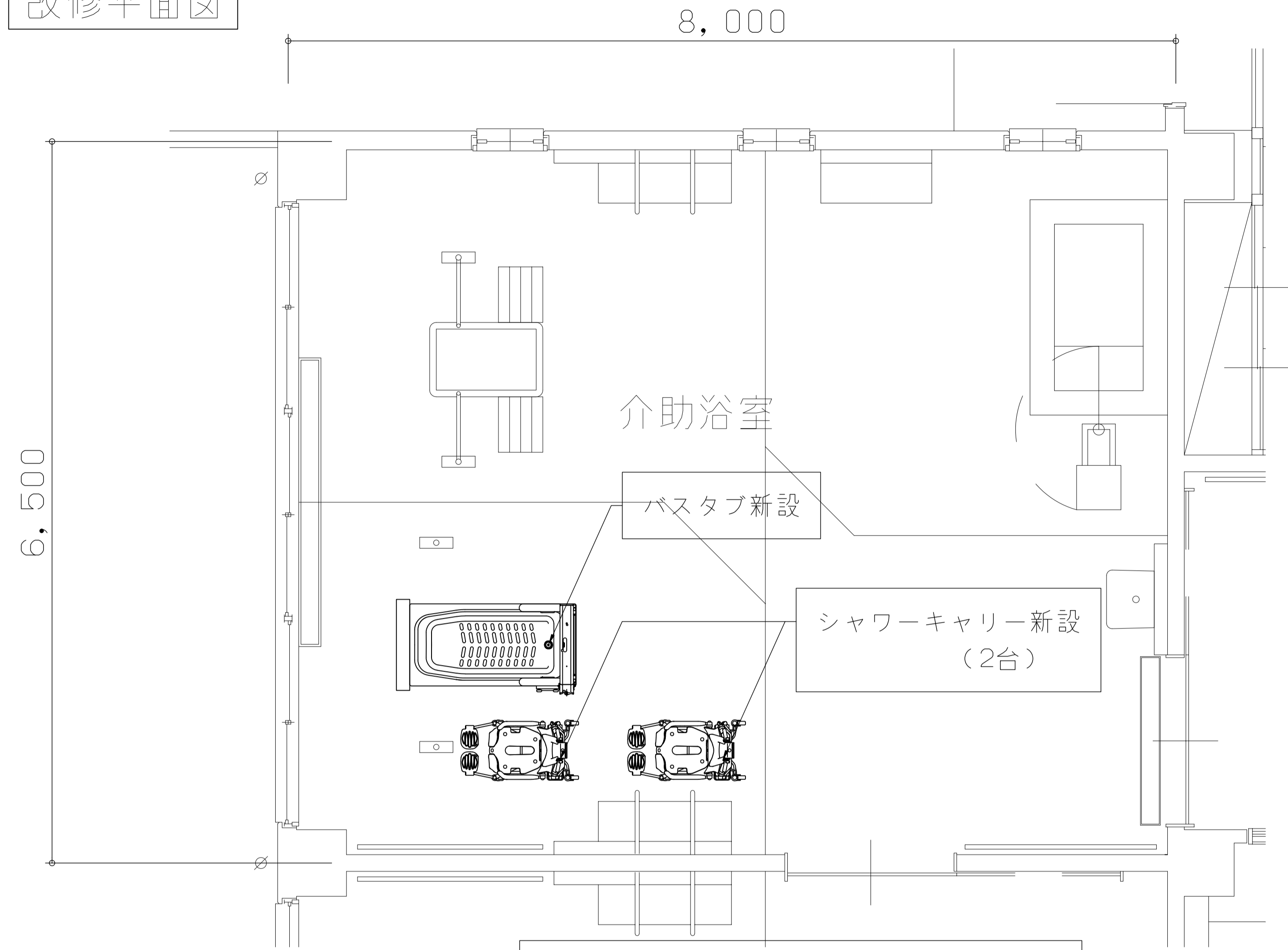
解体後詳細図



既設平面図



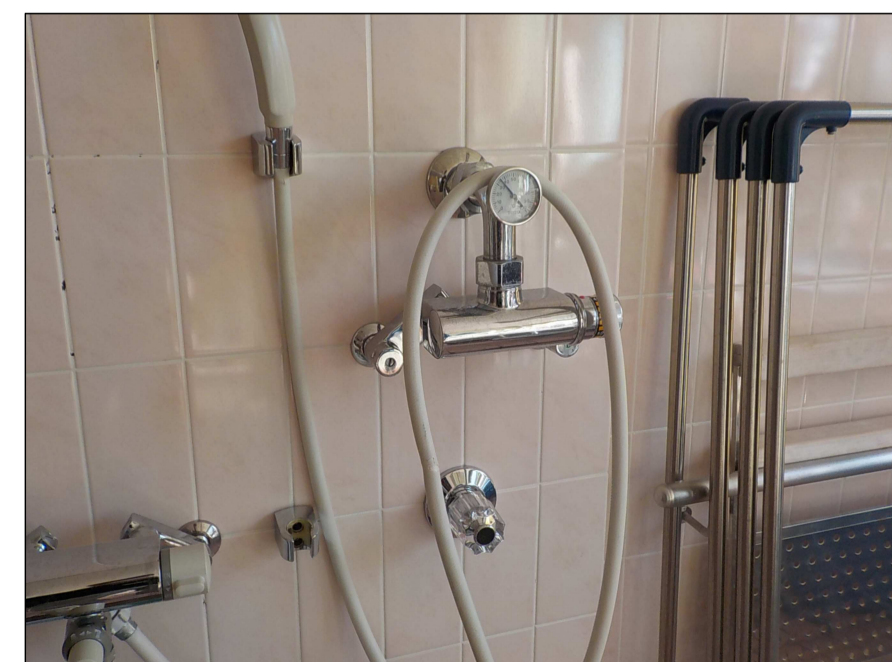
改修平面図



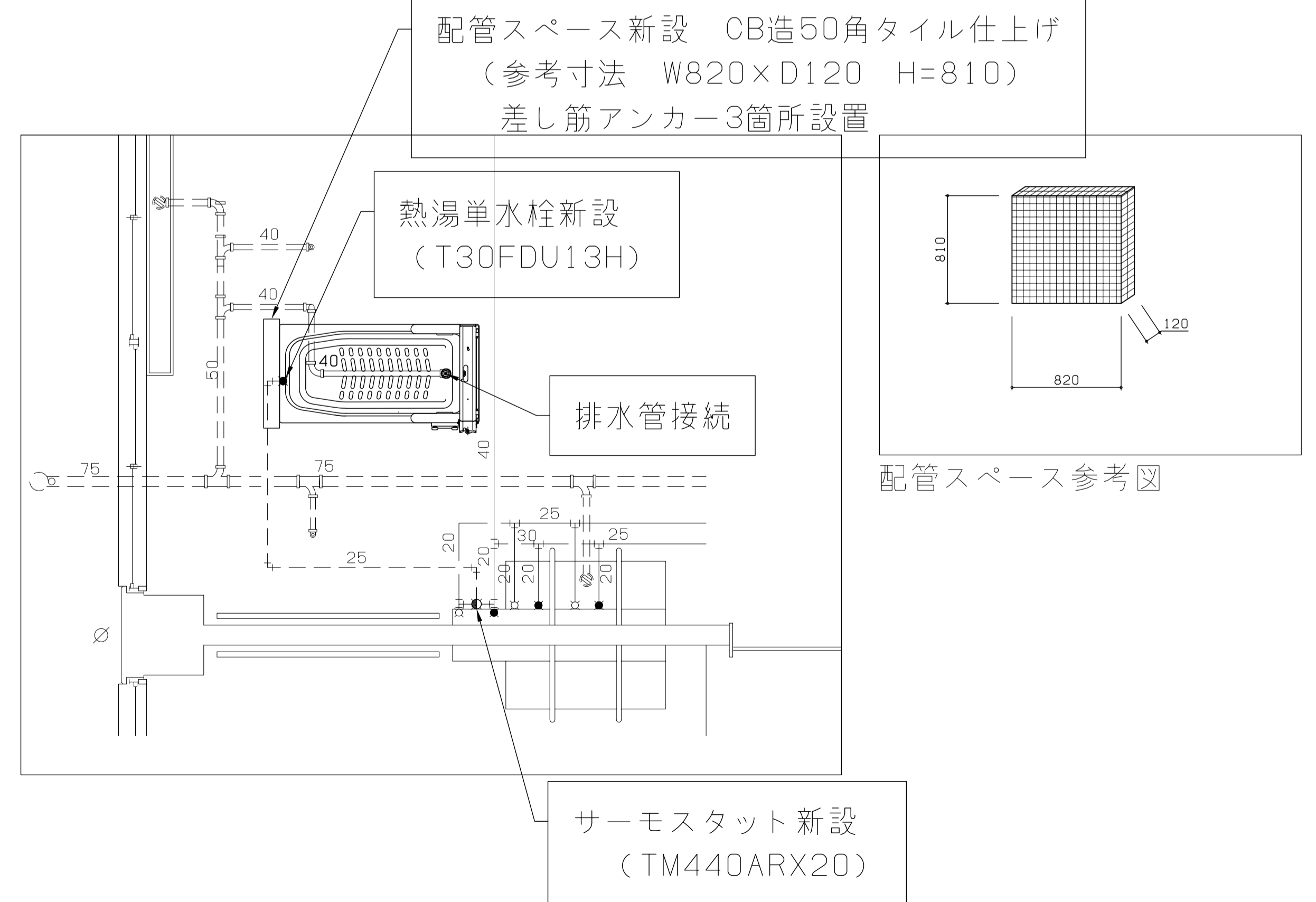
既設サーモスタット撤去 (TM440AX20)



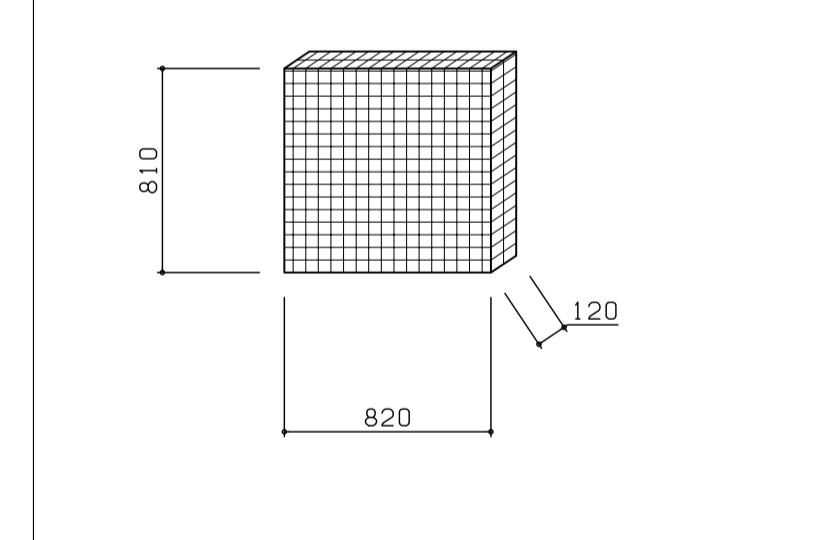
既設一人浴槽参考写真



既設サーモスタット参考写真



配管スペース新設 CB造50角タイル仕上げ (参考寸法 W820×D120 H=810) 差し筋アンカー3箇所設置



配管スペース参考図